

柴胡加竜骨牡蛎湯（黄芩）は、「傷寒論」に収録されている、精神不安があって、どうき、不眠等を伴う、高血圧の随伴症状（どうき、不安、不眠）、神経症、更年期神経症、小児夜なきに用いられる漢方薬です。

#### してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります）

1. 次の人は服用しないでください  
生後3カ月未満の乳児。
2. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください

#### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください
  - （1）医師の治療を受けている人。
  - （2）妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - （3）体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
  - （4）胃腸が弱く下痢しやすい人。
  - （5）高齢者。
  - （6）今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
  - （7）次の症状のある人。  
むくみ
  - （8）次の診断を受けた人。  
高血圧、心臓病、腎臓病
  - （9）次の医薬品を服用している人。  
瀉下薬（下剤）

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

（1）服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮ふ	発疹・発赤、かゆみ
消化器	はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮ふや白目が黄色くなる）等があらわれる。
間質性肺炎	せきを伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。
偽アルドステロン症	尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛等があらわれる。

（2）1カ月位（小児夜なきに服用する場合には1週間位）服用しても症状がよくなる場合

3. 長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談してください

4. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください  
軟便、下痢

#### 効能・効果

精神不安があって、どうき、不眠等を伴う次の諸症：高血圧の随伴症状（どうき、不安、不眠）、神経症、更年期神経症、小児夜なき

#### 成分と分量

1包（大人1日量）中に次の成分を含んでいます。

成 分	サイコ	ハンゲ	ブクリョウ	ケイヒ	オウゴン	タイソウ
分量	5.0g	4.0g	3.0g	3.0g	2.5g	2.5g
	ニンジン	リュウコツ	ボレイ	ショウキョウ	ダイオウ	
	2.5g	2.5g	2.5g	0.5g	1.0g	

#### 用法・用量

本品1包に水約500mLを加えて、半量ぐらいいまで煎じつめ、熱いうちに煎じかすを除き、煎液を3回に分けて食間に服用してください。本剤は必ず1日分ずつ煎じ、数日分をまとめて煎じないでください。

上記は大人の1日量です。

年 齢	大人（15才以上）	14才～7才	6才～4才	3才～2才	2才未満	3カ月未満
服用量	上記の通り	大人の2/3	大人の1/2	大人の1/3	大人の1/4以下	服用しないこと
1日服用回数	3回					

#### <用法・用量に関連する注意>

- （1）用法・用量を厳守してください。
- （2）小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- （3）1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させてください。
- （4）煎じ液は、必ず熱いうちにかすをこしてください。
- （5）本剤は必ず1日分ずつ煎じ、数日分をまとめて煎じないでください。

#### 保管及び取扱い上の注意

- （1）直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- （2）小児の手の届かない所に保管してください。
- （3）他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わります。）
- （4）煎じ液は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用してください。
- （5）生薬を原料として製造していますので、製品の色や味等に多少の差異を生じることがあります。